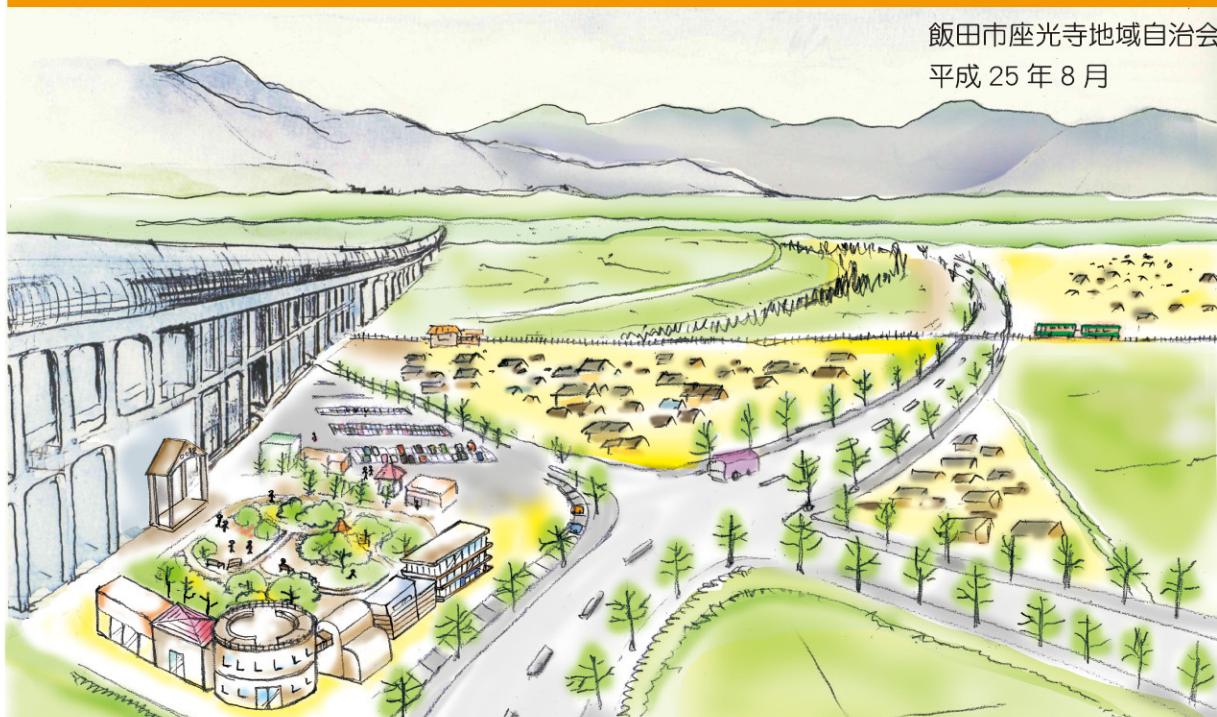


飯田市座光寺地域 リニア中央新幹線を見据えた地域づくりの基本方針

飯田市座光寺地域自治会
平成 25 年 8 月



リニア駅周辺イメージ図

はじめに

座光寺地域は、JR 東海が公表したリニア中央新幹線の概略路線と駅位置の圏内に位置しており、路線の地域内通過が確実視されるうえに、関連するアクセス道路などの整備も想定されています。このため、好むと好まざるとにかかわらず平穏な生活環境が変貌することは必至とみられています。

また、「陸の孤島」と言われた当圏域がリニア開通により東京や名古屋の大都市通勤圏・生活圏となることから、生活の質的な変化も求められます。ここに座光寺地域はリニア駅の最寄りの地域であり、都会からの影響を直接的に受け易いと考えられます。

こうしたことから、当地域が、リニア中央新幹線を見据えた明確な地域づくりのビジョンを持たないと、恵まれた自然環境のなかで心豊かに暮らしてきた今までの生活が損なわれる懸念が多分にあります。

そこで、当地域では、リニア開業に伴うプラス面の効果を最大限に活かしマイナス面を抑制するという観点で、多くの住民の参加を得ながら、新しい環境での地域づくりを検討してきました。

私たちの願いは、今日まで培ってきた文化や伝統に根付いた生活環境を守りたいということ、都会からの新たな人々との共存による新しい住環境を構築すること、更には、地域資源を活かして都会からの交流人口を増やし地域の魅力や活力の向上に繋げたいというものです。

こうした、「自分たちの地域はこうありたい」という想いを「リニア中央新幹線を見据えた地域づくりの基本方針」に描きました。

今後、リニア関連整備の具現化に伴い様々な対応が予想されますが、当地域では基本方針のもと、地域住民が意識を共有して取組むことをめざします。



旧座光寺麻績学校校舎と麻績の里舞台桜

基本方針

持続可能な農業

農業は当地域の基幹産業であり、美しい農村景観は地域の魅力の根源です。リニア時代にも農業や農村景観を維持するためには、農業従事者だけでなく地域全体で支えていく姿勢が大切です。

当地域ではリンゴ・ナシ・モモ・市田柿をはじめ多種多様な作物が育ちます。これから農業はこうした地域の個性や特性を活かしていくことが求められるでしょう。

農地の活用については柔軟な発想が必要です。また、リニア開通によって都会との結びつきが深まることから、都会の人々の力を取り入れることも有効です。

- ① 経営できる農業のために、条件の良い農地は集約化を図り生産性を高めます。
- ② 経営の難しい農地については、農業や農地の保全のために兼業農家への斡旋や観光農園、市民農園とする一方で、定住促進のための住宅地として提供できるようにすることも必要です。
- ③ 農業経営への著しい影響をさけるため、農地買収に際しては経営が維持できるよう特段の配慮を求めます。
- ④ 持続可能な農業を実現するために、地産地消や労力支援などの取組みを地域ぐるみで協議し推進します。

住み続けたい、住みたい地域

リニア関連の整備に伴い住宅の移転を余儀なくされたとしても、引き続き地域内に住み続けられるような環境の整備を進めます。

当地域には都会にはない地域資源が豊富にあるため、これらを活かして都会の人々が住みたくなる魅力ある地域づくりを進めています。

- ① 住民が共に支えあい快適で安心できる暮らしを守るために、地域のルールづくりを進めます。
- ② 整備に伴い移転を余儀なくされる場合や居住区域が分断されることも想定されますが、そうであっても、まずは座光寺地域に住み続けられることをめざします。
- ③ 田舎暮らしを実感できる住宅や農地付き住宅など都市住民が魅力を感じることのできるような住環境をめざします。

交流人口の増大

リニアが開通すると人の往来が容易になります。そこで、今ある資源を有効活用した都会とは異なる魅力ある地域づくりを進めて、交流人口の増大を図ります。

リニア駅から歩ける範囲にある当地域では、その地の利を活かした文化的で個性的な地域づくりを進めます。

歴史マンに触れられるまち ······

- ① 駅の徒歩圏内に様々な年代の文化財が集積している当地域の立地を活かし、恒川遺跡群～高岡古墳～元善光寺～舞台校舎～南本城城跡などを巡る「2000年浪漫の郷」散策コースを整備し活用します。

四季折々の自然を味わえるまち ······

- ① 南アルプスへの訪問者を増大させるため、リニア駅近くに登山・観光の拠点を設置することを提案します。
- ② 桜・新緑・果物や山河などをアピールしたトレッキングやハイキングコースを整備し、歩くことの魅力のある里づくりに努めます。

農を楽しむ癒しのまち ······

- ① 都市近郊と変わらない時間的距離となることから、都会の人々が週末に通って楽しめるような市民農園を提供します。特に、地域の最上段は南アルプスの眺望が素晴らしいため、独自の景観を活かし、都市との交流をキーワードに新たな農業の形を模索、創造します。
- ② 当地域で盛んな体験農業は、さらに受け入れ団体やメニューを充実させ多様なニーズに応えていきます。

伝統芸能・人形文化が楽しめるまち ······

- ① 竹田人形・獅子舞などの地域文化を窓口として、伝統芸能の宝庫である南信州地域全体と連携して観光振興に努めます。



恒川清水（ごんがわしみず）



高岡第1号古墳



元善光寺



南本城城跡



竹田人形座竹の子会



麻績神社獅子舞

調和ある整備

リニア駅は県の南の玄関口としての機能を確保しつつ、駅周辺については、都会から 1 時間以内にある自然豊かな別天地であることを意識して整備を進めるべきです。

アクセス道路やスマートインターなどの新たなインフラ整備にあたっては、周辺環境との調和や地域住民の利便性の確保、地域振興への配慮が必要です。

整備全般…………… 駅周辺……………

- ① 地域に大きな影響を与えるリニア関連の整備にあたっては、計画段階から住民の参加を認めるなど地域住民の意向を尊重することを求めます。
- ② 整備に関して土地が買収される場合には、活用のできない不整形な土地が発生しないような配慮を望みます。

- ① 駅周辺には、無秩序な開発を防ぎ土地を計画的かつ有効に利用するための一定のルールづくりが必要です。開発区域は、駅から気軽に歩ける範囲を目安とします。
- ② 駅の両側は、機能分担を図りながらバランスのとれた整備を求めます。
- ③ 駅前広場は、来訪者のみならず地域住民も憩い散策のできる緑豊かな公園とすることを提案します。公園には、シンボル的にリンゴや市田柿などの樹木を配すことも勧めます。
- ④ この地域の景観を特徴づける山並みの眺望を確保するため、建築物の高さや空間配置に配慮が必要です。
- ⑤ 駅周辺には、観光交流の拠点となるような地元特産物直販所や観光案内所も必要です。
- ⑥ 駅舎は、木材の多用や色彩・デザインの工夫などによりこの地域の風土に溶け込んだものとすることが大切です。

検討体制

この基本方針は、座光寺地域自治会内に平成 24 年 4 月に設置した「リニア対策特別委員会」の二十数回にわたる検討をもとに、地域住民にも広く意見を聴いたうえで、平成 25 年 8 月自治会の最高議決機関である地域振興会議で協議し決定したものです。

印刷／平成 25 年 8 月
発行／飯田市座光寺地域自治会
〒395-0001 飯田市座光寺 2535 番地
飯田市役所座光寺自治振興センター内
TEL.0265-22-1401 FAX.0265-22-1475
E-mail:zakouji@city.iida.nagano.jp